

6. 各地域募集内容詳細

地域：サンパウロ

内容：総合食品展

募集終了

◆基本情報

設置会場：サンパウロ市内（ジェトロ事務所内）

面積：20㎡

展示期間：2025年7月～2026年3月

参加バイヤー：ブラジルにおける食品輸入事業者

◆募集企業数

50社程度、各社1～3商品程度

◆採択方法

応募いただいた情報をもとに、ジェトロ・サンパウロ事務所にて審査します。

※審査にあたっては、**現地にサンプルがあること（取引のある貿易事業者を通じて持ち込み等）**が望ましい。

◆対象品目

酒類（清酒、焼酎、梅酒、ジン、ウィスキー）、加工食品（レトルト食品、麺類、ふりかけ）、冷凍食品、調味料（醤油、味噌、みりん、ドレッシング）、菓子（グミ、チョコレート、アメ、米菓）、茶（ほうじ茶、麦茶）等

※ブラジルの輸入規制や検疫条件等に合致し、輸入が禁止されていないこと

参考：日本からの輸出に関する制度（ジェトロ）



ジェトロ事務所内にて商品を手に取り試食するバイヤー（2024年度）

◆事業内容（予定）

①【企画展・7月】日本祭り（Festival do Japão）「いいもの展」・会期後のフォローアップ

毎年18万人以上が訪れる世界最大級の日本祭りFestival do Japão（7月11日～13日）にて、運営団体と連携し、B2B商談展示会「いいもの展」を実施します。「いいもの展」出展者の中で、本事業にお申込みいただいた企業は、会期終了後にジェトロ事務所内のショールームに商品を展示することが可能です。ジェトロ・サンパウロが適宜、輸入事業者やレストラン関係者などを事務所へ招へいし、ジェトロ職員が商品紹介を行います。商談を希望するバイヤーがいた場合、[Japan Street](#)を通じたオンライン商談を実施するなど、会期後のフォローアップを行います。

※「いいもの展」出展者に限ります。「いいもの展」への出展については各都道府県にお問い合わせください。

②【企画展・9月～10月】サンパウロの大型食品見本市への出展

水産物または酒類に関するB2B食品展示会にジェトロブースを設置し、①申込者の商品紹介を行います。商談を希望するバイヤーがいた場合、[Japan Street](#)を通じてオンライン商談を実施します。

③【企画展・12月～2月】ジャパンハウスまたはサンパウロ近郊都市での企画展を開催

サンパウロJapan House または、サンパウロ近郊都市にてジェトロ主催のイベントを開催し、①申込者の商品を持ち込み輸入事業者やレストラン関係者向けに商品紹介を行います。商談を希望するバイヤーがいた場合、[Japan Street](#)を通じてオンライン商談を実施します。

④【常設展・通年】サンプルまたはカタログの展示を通して現地輸入事業者へ商品紹介

ジェトロ事務所内にて3月末まで展示。当地バイヤーを事務所へ招へいし、ジェトロ職員が商品を紹介します。商談を希望するバイヤーがいた場合、[Japan Street](#)を通じてオンライン商談を実施します。

≪2024年度実施事例（企画展の様子）≫



Sea Food Show2024（10/22-24）
南米最大の水産物展示会（出展社125社、来場者4000社）にてジェトロブースを設置。日本の事業者3社と当地食品インポーター6社がハマチ、ホタテ、しょうゆ、ワサビ、日本酒を提供し、ジェトロが試食・試飲会を行った。



日本食PRイベント（2025/1/22）
サンパウロJapan Houseにて、現地レストラン経営者などバイヤー31社、45人に対して日本産食品をPRするイベントを行った。現地インポーター7社が出展し、日本酒、泡盛、梅酒、お茶、カレールー、乾麺等150商品を展示し、各社が試食・試飲を行った。



Super Rio Expofood2025（3/18-20）
リオ・デ・ジャネイロで行われたB2B食品展示会にジェトロブースを設置し、現地インポーター2社とともに出展。リオはブラジル有数の観光地であり、世界中から観光客集まる観光客やブラジル在住の富裕層が日本食市場のターゲット。寿司をはじめとする日本食は非日系ブラジル人からの人気も高い。